



あけましておめでとうございます。皆さまには清々しい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。日頃から町政に対しご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、旧芳賀高校跡地の「祖陽が丘」住宅用地が完売するなど6年連続で転入者数が転出者数を上回ったほか、芳賀第2工業団地の予約分譲企業2社の決定、LRT沿線付近の地価公示価格の上昇など、本町の将来への期待の高まりを実感しました。今後も皆さまに「住んでみたい」「住んで良かった」と思われ「躍動する わくわくする 芳賀町」に誇りと期待を持っていただけるよう、各施策を推進します。

農業振興に向けて、稲毛田地内での梨団地の整備や、昨年着手となった祖母井・上延生・芳志戸地内のほ場整備事業「芳賀町北部第2地区」の面工事を推進し、土地基盤を整えます。

宇都宮市と共同で取り組むLRT(次世代型路面電車)整備事業は、開業に向け工事を進めます。開業に合わせ、本町を訪れる人々を魅了するまちづくりに注力します。交通結節点として工業団地内に設けるLRTトランジットセンターの隣接に整備する案内所等観光拠点の設計に取り組みます。下原地区においては、利便性の高い新たな住宅地を整備するための計画づくりを進めます。防災機能を兼ね備えた新たな観光の名所として、道の駅はがと芳賀遊水地をつなぐ遊歩道を整備し、来訪者の回遊を促します。

子育てしやすい環境を充実させ、少子化対策を図ります。今月中には、利用者増加のため新築した芳賀東小学校の学童保育施設を開きます。子育て支援課を中心に、妊娠・出産・子育てへの一体的な支援や、県内初となる「子ども第三の居場所」の設置を行います。

皆さまの安心につなげる取り組みとして、町内の要所に防犯カメラを設置するほか、交通事故を抑止する整備を行います。「自助」や「共助」の連携を軸とする地区防災計画は、全自治会での策定を目指します。自主防災組織と町のコラボ防災訓練を継続し、災害に強く、安全安心に暮らせるまちづくりを進めます。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

令和4年1月

芳賀町長 **見目 匡**



あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと拝察し、心よりお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染拡大で1年延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。昨年10月に県民栄誉賞を受賞された本県出身の柔道高藤直寿選手の金メダルで始まり、各選手の活躍は、コロナ疲れで気落ちしていた私たちに歓喜と感動を与えてくれました。

1964年10月開催の前の東京オリンピックを思い出しますと「東洋の魔女」と称された女子バレーボールや男子体操団体の金メダル、そして裸足で走ったローマ大会に続き2大会連続金メダルを獲得した上、当時の世界最速記録を樹立した男子マラソンのアベベ・ビキラ選手に釘付けとなりました。この大会に合わせて国内では、東海道新幹線や東京モノレール、首都高速道路などのインフラが整備され、開会式が行われた10月10日は祝日の「体育の日」となり、国民の心に広く結びつきました。一方、時代は巡り57年が経過し開催された今大会は、コロナ感染拡大防止のため聖火リレーの一部中止や無観客開催となってしまったことで、国民の圧倒的な支持を得た大会とは言えませんでした。

本町においては、町が造成した魅力あふれる住宅団地「祖陽が丘」の完売による定住人口の増加、芳賀第2工業団地の造成や土地改良事業の推進、そして宇都宮駅へ直結するLRT事業の進展により、間もなく夢や理想が結実されると感じております。この喜びに慢心することなく、ある著名人の名言「予算は有限、希望(欲望)は無限」を真摯に受け、堅実な財政運営と町勢発展に、議員一同で鋭意努力してまいります。

本年が、町民の皆さまにとりまして健やかで幸せな素晴らしい年になりますようご祈念し、今後も議会に対しましてご理解とご協力を賜れますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和4年1月

芳賀町議会議長 **小林 俊夫**

